

2024 年度 事業報告書

1. 総論

能登半島地震の復興に始まった2024年度は依然としてウクライナ戦争をはじめとした世界的紛争が続く中、昨年度から継続するインバウンドが過去最高に達するとともに日銀による17年ぶりのマイナス金利の解除を追い風に個人消費が緩やかな増加基調となる等、国内の経済正常化に向けた道筋を模索する1年となりました。

このような事業環境の下、当工業会の主要事業である厨房設備士資格認定制度・厨房設備通信教育の運営による技術者の育成、業務用厨房設備機器基準による安全衛生・災害防止の徹底、厨房設備機器展の開催、統計調査の実施・提供、月刊広報誌「厨房」の発刊については当初計画の通り実施することができました。

厨房設備士資格認定試験については7月10日(水)に国内8箇所の会場にて試験を実施した結果、1級6名(合格率12%)、2級93名(合格率54%)が合格しました。

第45回となる厨房設備通信教育については、2024年4月から2025年3月までの1年間に206名が受講し、2月17日(月)・18日(火)に東京・名古屋・大阪・福岡の4会場で実施されたスクーリングを経て170名(修了率82.5%)がコース修了、内116名が2級の厨房設備士資格認定試験が免除となる優秀修了者となりました。

厨房設備士資格保持者を主対象としたフォローアップ研修会については、ここ数年全国の飲食店において火災事故が散見されることから「厨房の安全について」と題し、東京消防庁の金野浩幸氏と(一社)日本空調システムクリーニング協会の花木俊介氏に事例を交えてWEBセミナーを行っていただきました。法人29社・個人20名よりお申し込みをいただき3月14日(金)からの1ヶ月間に1,034回の再生がありました。

当工業会が規定する「業務用厨房設備機器基準」を用い対象機器の適合確認を担う自主検査員の養成講習会については、3月14日(金)にWEBセミナー形式で行い会員企業より59名が受講しました。これにより、自主検査員の総数は353名(2025年3月末)となりました。

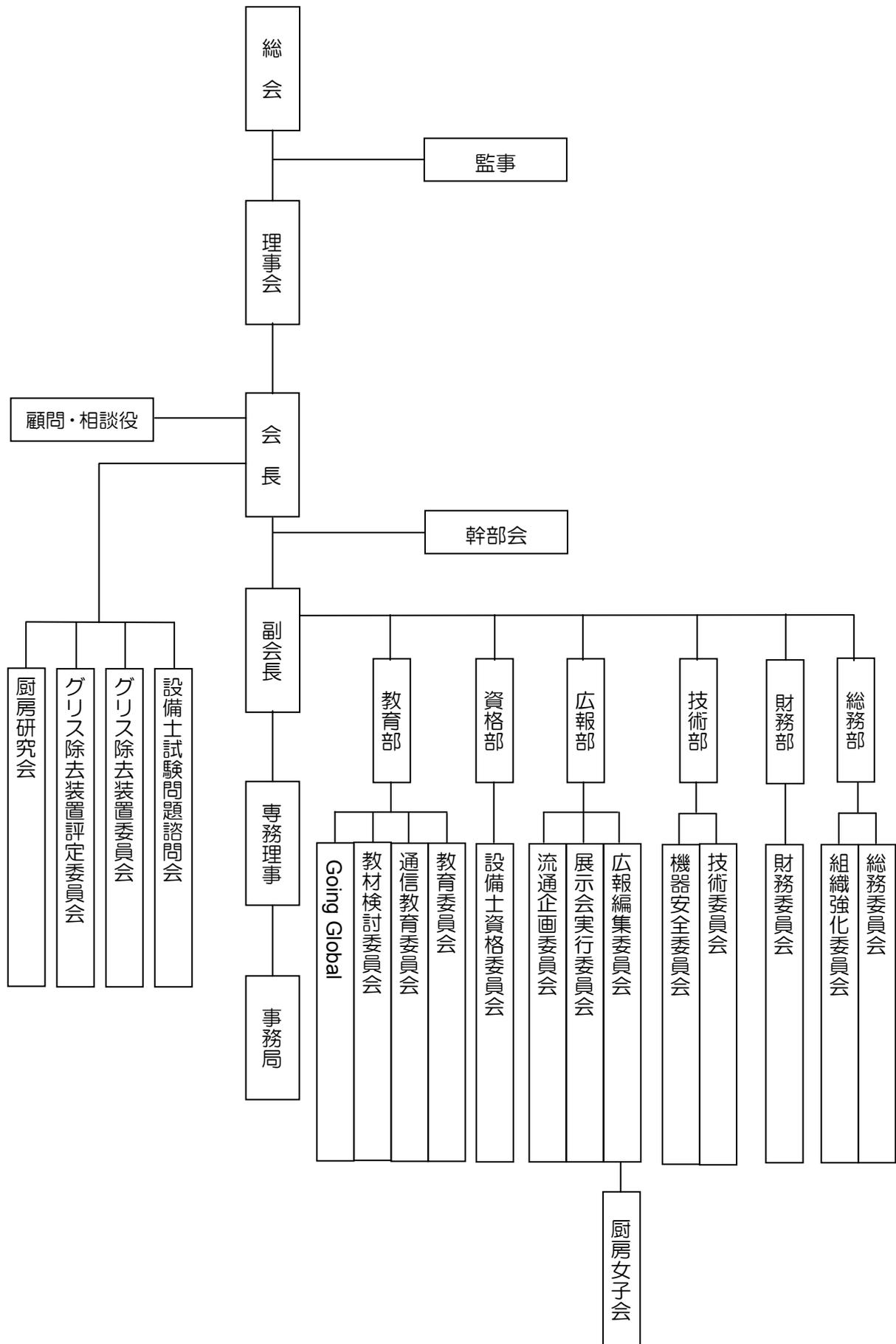
第25回厨房設備機器展については「あなたの課題を解決します!ニッポン厨房最前線」のテーマにて2025年2月4日(火)から7日(金)にかけて東京ビッグサイト東展示棟にて開催し、10年にも言われた強烈寒波の中、会員企業63社(対前回5社増)が合計511小間(対前回9小間増)にて各社が推奨する最新機器等を展示いたしました。展示会全体の来場者数は49,334名(対前回2%減)、10社がお客さまの課題解決の一助に資する目的にて実施した工業会主催のセミナー参加者数は677名(対前回300名減)となりました。なお、これに先立つ2024年10月下旬にはシンガポールにて開催されたFHA(Food&Hotel Asia)HoReCaにおいて会員有志5社が共同出展を行い、アジア市場へのアピールに加え海外展開に向けた知見を高めることができました。

また外食産業の人手不足の軽減に寄与すべく、経済産業省・中小企業庁の中小企業省力化投資補助事業に「スチームコンベクションオープン」と「自動フライヤー」がカテゴリー登録されました。

加えて、10月23日(水)には5年ぶりに厨房女子会を開催し、12社15名が参加しました。

2025年に入りインバウンドによる経済効果はまだまだ継続する見込みですが、足元ではインフレによる更なる物価上昇や少子高齢化に伴う労働力不足等への対策が急務となっています。当工業会は、引き続き会員の事業発展に資する課題解決に向けた諸活動を行い、食文化の発展と業界の繁栄に貢献できるよう努めてまいります。皆さまのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 会務運営機構



3. 事業の内容

◆総務部関係事項

【総会】

- 第 58 回定時総会 2024 年 6 月 12 日（水） 東京ドームホテル「オーロラ」
第 1 号議案 2023 年度事業報告及び収支決算の承認の件
第 2 号議案 2024 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認の件
第 3 号議案 理事の選任の承認の件

【理事会】

- (1) 第 1 回 2024 年 5 月 8 日（水）
エッサム神田ホール 2 号館 8 階「スカイホール」（WEB 会議併用）

◎審議事項

- 第 1 号議案 新規加入申込と退会会員に関する件
第 2 号議案 2023 年度事業報告及び収支決算に関する件
第 3 号議案 内閣府への提出書類と手続きに関する件
第 4 号議案 2024 年度事業計画（案）及び収支予算（案）に関する件
第 5 号議案 理事の辞任に関する件及び新理事候補に関する件

◎協議事項

- ・ 関連団体事業の協賛について
- ・ 第 58 回定時総会の開催について
- ・ 第 58 回定時総会時の表彰対象者について
- ・ 2024 年度第 2 回（移動）理事会の開催について

- (2) 第 2 回 2024 年 10 月 3 日（木） ホテルメトロポリタン仙台 3 階「曙（西）」（移動理事会）

◎審議事項

- 第 1 号議案 新規加入申込に関する件

◎協議事項

- ・ 関連団体事業の協賛について
- ・ 第 31 期理事の選出について
- ・ 2025 年（令和 7 年）新春賀詞交歓会の開催について
- ・ 2024 年度第 3 回理事会及び 2025 年度第 1 回理事会の開催について
- ・ 第 59 回定時総会の開催日と会場について
- ・ 2025 年 10 月の海外視察の実施について

- (3) 第 3 回 2025 年 3 月 26 日（水）

エッサム神田ホール 2 号館 8 階「スカイホール」（WEB 会議併用）

◎審議事項

- 第 1 号議案 新規加入申込と退会会員に関する件

◎協議事項

- ・ 関連団体事業の協賛について
- ・ 2025 年度事業計画（案）について
- ・ 第 31 期理事の選出について

【幹部会】

- (1) 第1回 2024年5月1日（水） 工業会会議室
- (2) 第2回 2024年9月24日（火） 工業会会議室
- (3) 第3回 2025年3月5日（水） 工業会会議室

【総務委員会】

- (1) 第1回 2024年4月15日（月） 工業会会議室（WEB会議併用）
- (2) 第2回 2024年9月13日（金） 工業会会議室（WEB会議併用）
- (3) 第3回 2025年2月26日（水） 工業会会議室（WEB会議併用）

【新春賀詞交歓会】

2025年新春賀詞交歓会：2025年1月15日（水） 16：00～17：30
東京ドームホテル 地下1階「天空B」
出席者数 225名（招待者 61名、会員 164名）

◆財務部関係事項

【財務委員会】

- (1) 第1回 2024年4月18日（木） 工業会会議室
 - ・2023年度における収支決算について
 - ・2024年度における収支予算（案）について
 - ・公益目的支出計画実施報告書の提出について

【監事会】

- (1) 第1回 2024年4月30日（火） 工業会会議室
 - ・2023年度事業報告及び収支決算に関する監査の件

◆技術部関係事項

【技術・機器安全合同委員会】

- (1) 第1回 2024年7月10日（水） 工業会会議室（WEB会議併用）
 - ・中小企業省力化投資補助事業のカテゴリ登録について
 - ・前年度自主検査員講習会の結果について
 - ・金属可とう管の接続に関する注意書きについて
 - ・北九州市消防局からガスコンロの「過熱防止装置」の付加についての要望

- (2) 第2回 2024年12月19日（木） 工業会会議室（WEB会議併用）
 - ・水素を燃料とする厨房機器について（日本ガス機器検査協会より説明）
 - ・今年度改正された JIS C 9335 について
 - ・中小企業省力化投資補助事業のカテゴリ登録について
 - ・中小企業省力化投資補助事業のWGの作成について
 - ・自主検査員講習会の開催について
 - ・業務用厨房機器の耐用年数の設定の必要性について
 - ・金属可とう管の接続に関する注意書きについて

【業務用厨房機器における「菌等」の抑制に関する用語の使用基準、それに類する試験方法および判定基準について検討を行う 小WG】

- (1) 第1回 2024年4月23日(火) 工業会会議室 (WEB 会議併用)
- (2) 第2回 2024年5月23日(木) 工業会会議室 (WEB 会議併用)

【中小企業庁省力化投資補助金事業 WG】

- (1) 第1回 2025年3月17日(月) 工業会会議室 (WEB 会議併用)

【JFEA 業務用厨房設備機器基準適合確認自主検査員講習会】

昨年度に引き続き、Zoomを使用したWEB配信を採用し実施した。

- (1) 2025年3月14日(金)
 - ・受講者数 : 59名
- (2) 登録状況 (2025年3月)
 - ・自主検査員 : 353名

【JFEA 業務用厨房設備機器基準登録】

- (1) 登録状況 (2025年3月)
 - 会社数 : 9社
 - 親型式 : 104機種
 - 子型式 : 2,639機種

【中小企業等経営強化法に係る固定資産税の軽減】

- ・2024年度証明書発行件数 731件

【中小企業省力化投資補助金】

- ・2024年度証明書発行件数 スチームコンベクションオープン 118件

◆広報部関係事項

【広報編集委員会】

- (1) 第1回 2024年9月20日(金) 工業会会議室
 - ・広報編集委員会新任委員について
 - ・2023年度第2回広報編集委員会報告について
 - ・月刊厨房アンケート結果について
 - ・厨房女子会について
 - ・月刊厨房表紙について
 - ・その他
 - ・2025年新春対談について
 - ・月刊『厨房』連載内容について
 - ・広報編集委員における各支部(地方編集委員)への協力体制について
- (2) 第2回 2025年3月27日(木) 工業会会議室
 - ・2024年度第1回広報編集委員会報告について
 - ・2025年新春対談について
 - ・月刊『厨房』表紙について
 - ・厨房女子会について
 - ・月刊『厨房』連載内容について

- ・月刊『厨房』2026年以降の表紙について
- ・2026年新春対談について
- ・にしかわたく先生連載漫画の冊子化について
- ・広報編集委員における各支部（地方編集委員）への協力体制について

【月刊『厨房』の発行】

- ・厨房設備機器展を出展者・来場者へアピールする記事を7月号～2月号にかけて掲載し、機器展直前の1月号では工業会主催の各種セミナーの詳細を掲載し、来場者増加への支援を強化した誌面作りを行った。
- ・厨房業界向け連載企画として、東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株)・Daigas エナジー(株)・東邦ガスエナジーエンジニアリング(株)各会員企業様のご協力による『カーボンニュートラル in 業務用厨房』、飯田真弓先生『「バリューチェーン」基礎講座』を連載。
- ・かなざわ食マネジメント専門職大学 堀田宗徳教授の連載、広く一般を対象とした連載企画として、(株)トータルフード 小倉朋子氏、斉田育秀氏のエッセイを掲載した。
- ・ヴィジュアル主体の連載については小崎彩子氏による料理コミック漫画、檜喜八氏によるイラストエッセイを巻頭に連載し、奥能登被災地の写真レポートを掲載し、にしかわたく氏による会員企業等の訪問漫画については、東北支部の出張取材記事を連載した。
- ・新春対談に中井貫二（一社）大阪外食産業協会会長（千房(株)代表取締役社長）を招聘し、タニコー(株)様の協力も仰ぎ、大阪・ホテルモントレグラスミア大阪で対談を行った。

【『2024年度版会員名簿』の発行】

『2024年度版会員名簿』を2024年9月に550部発行した。

【ホームページによる広報活動】

各種出版物の告知、厨房設備機器展、厨房設備士受験・通信教育の申込などの告知を行ったほか、官公庁からの告知要請に基づいた公告活動に協力を行った。

【厨房女子会】

- (1) 2024年10月23日（水） シャン・ドゥ・ソレイユ 4F 会議室
 (株)トータルフード 代表取締役 小倉朋子氏に「凜と生きる、活き活きと働く、そんな私でいるために」をテーマに、自身のキャリアを含めてご講演いただいた。その後、同会場において懇親会を開催し、参加者同士の交流を深めた。（12社 15名参加）

【展示会実行委員会】

- (1) 第1回 2024年8月9日（金） 工業会会議室（WEB会議併用）
- ・日本能率協会に対する確認及び提案事項の回答について
 - ・来場動員グランプリの結果について
 - ・2024年度第1回企画委員会の報告について
 - ・HCJ2024の案内状別入場者数の内訳について
 - ・第25回厨房設備機器展のテーマについて
 - ・日本厨房工業会ブース企画について
 - ・日本厨房工業会主催セミナーについて
 - ・ポスターについて

- (2) 第2回 2024年12月17日(火) 工業会会議室 (WEB会議併用)
- ・2024年度第2回企画委員会の報告について
 - ・日本能率協会への確認(来場者バッジ・搬入出等)に対する回答について
 - ・HCJ2025の出展申込状況と出展会員企業について
 - ・第25回厨房設備機器展仕様のポスターおよび案内状について
 - ・出展者バッジの発行方法の変更について
 - ・日本厨房工業会主催セミナーについて
 - ・日本厨房工業会ブースについて
 - ・海外展示会への出展に関して

- (3) 第3回 2025年3月12日(水) 工業会会議室 (WEB会議併用)
- ・第25回厨房設備機器展の結果報告について
 - ・日本厨房工業会ブースについて
 - ・日本厨房工業会主催セミナーの開催結果について
 - ・バスの運行結果について
 - ・第25回厨房設備機器展に対する各委員の意見について
 - ・第25回厨房設備機器展収支と次回予算(案)について
 - ・第26回厨房設備機器展について

【第25回厨房設備機器展】

- (1) テーマ : 「あなたの課題を解決します! ニッポン厨房最前線」
- (2) 会期 : 2025年2月4日(火) ~ 2月7日(金)
- (3) 会場 : 東京ビッグサイト 東展示棟1~6ホール
- (4) 出展社数 : [HCJ] 836社(前回 826社) 2,238小間(前回 2,198小間)
[会員] 63社(前回 58社) 511小間(前回 502小間)
- (5) 来場者数 : 49,334名(前回 50,131名)

(6) 工業会ブース企画

- ・工業会案内(活動紹介・組織図・全国会員一覧・出展会員一覧)
- ・厨房設備士資格紹介
- ・厨房設備士資格認定試験問題
- ・厨房女子会活動紹介
- ・グリス除去装置認定事業の紹介
- ・工業会事業紹介マンガパネル
- ・中小企業省力化投資補助金紹介
- ・広報・周知(東京消防庁 火災注意喚起ガイドライン、総務省消防庁・
ガス機器検査協会 火災注意喚起、高圧ガス保安協会 CO中毒注意喚起)
- ・衛生設備機器・省人化設備のカタログ紹介
- ・会員入会・説明コーナー
- ・書籍の配布
- ・COに対する注意喚起ステッカー配布

(7) 日本厨房工業会主催セミナー

テーマ：「あなたの課題を解決します！ ニッポン厨房最前線」

開催日：2025年2月4日（火）～2月7日（金）

実施企業：（一社）日本ガス協会、（株）富士工業所、フクシマガリレイ（株）、ニチワ電機（株）、
ライステクノプロダクト（株）、タニコー（株）、東京ガス（株）、（株）フジマック、
（株）マルゼン、クールフライヤー（株）

出席者数：677名（前回 977名）

【流通企画委員会】

(1) 第1回 2024年7月19日（金） 工業会会議室

- ・送付物について
- ・調査対象企業の選定について
- ・実態調査作成スケジュールについて
- ・調査票の回収方法について
- ・機器分類について
- ・実態調査の報告書作成について

(2) 第2回 2024年11月15日（金） 工業会会議室

- ・2024年実態調査の進捗について
- ・実態調査（2024年版）の報告書について
- ・業種別売上高比率の分類追加について
- ・業務用厨房機器分類の品目追加について
- ・報告書の体裁・配付先等について

【2024年版業務用厨房機器に関する実態調査】

- ・調査対象企業：会員企業211社・会員外企業79社
- ・調査実施期間：2024年8月16日～9月25日
- ・調査方法：アンケートによる自記式、FAXないしメールによる回収法方式
- ・調査票回収状況：会員企業169社・会員外企業38社
- ・報告書発送日：2024年12月10日

◆資格部関係事項

【設備士資格委員会】

(1) 第1回 2024年4月4日（木） 工業会会議室

- ・2024年度厨房設備士資格認定試験の実施計画について
- ・2024年度厨房設備士資格認定試験の問題作成について
- ・2024年度厨房設備士試験関係スケジュール（案）について

(2) 第2回 2024年5月21日（火） 工業会会議室（WEB会議併用）

- ・2024年度厨房設備士資格認定試験問題作成について

(3) 第3回 2024年7月30日（火） 工業会会議室

- ・2024年度厨房設備士資格認定試験解答結果の採点（1級図面問題）について

【2024 年度厨房設備士資格認定試験の実施】

- ・受験申請 : 2024 年 4 月 9 日 (火) ~5 月 7 日 (火)
- ・動画公開 : 2024 年 6 月 17 日 (月) ~6 月 24 日 (月) (午前 9 時)
- ・試験日 : 2024 年 7 月 10 日 (水)
- ・合格発表 : 2024 年 8 月 9 日 (金)

[2024 年度 厨房設備士資格認定試験 実施状況]

実施地区	申込者数			受験者数			合格者数			合格率		
	1級	2級	合計	1級	2級	合計	1級	2級	合計	1級	2級	合計
札幌	2	10	12	2	10	12	0	6	6	0.0%	60.0%	50.0%
仙台	4	10	14	4	10	14	0	7	7	0.0%	70.0%	50.0%
東京	29	83	112	26	78	104	3	39	42	11.5%	50.0%	40.4%
名古屋	3	20	23	2	19	21	0	10	10	0.0%	52.6%	47.6%
大阪	7	14	21	7	14	21	2	6	8	28.6%	42.9%	38.1%
広島	0	5	5	0	4	4	0	2	2	—	50.0%	50.0%
高松	1	15	16	1	15	16	0	13	13	0.0%	86.7%	81.3%
福岡	7	23	30	7	21	28	1	10	11	14.3%	47.6%	39.3%
合計	53	180	233	49	171	220	6	93	99	12.2%	54.4%	45.0%

※上記合格者以外に、通信教育成績優秀者 116 名に対し 2 級厨房設備士資格を交付。

【技能検定への協力】

- (1) 中央職業能力開発協会に中央技能検定委員を派遣し、検定試験問題の作成に協力した。
- (2) 全国 9 会場にて講習会を実施した。
- (3) 各都道府県の職業能力開発協会からの依頼を受け、実技試験における検定員及び検定補佐員の派遣を行った。

◆教育部関係事項

【通信教育委員会】

- (1) 第 1 回 2024 年 10 月 9 日 (水) 工業会会議室 (WEB 会議併用)
 - ・第 45 回スクーリング実施について
 - ・第 46 回通信教育開講について
 - ・第 46 回レポート問題の統一見解及び執筆分担について
- (2) 第 2 回 2024 年 12 月 5 日 (木) 工業会会議室 (WEB 会議併用)
 - ・第 45 回スクーリング問題検討について
 - ・第 45 回スクーリング作図指導について
 - ・第 46 回スクーリング実施日程について
 - ・第 46 回通信教育レポート問題検討について
- (3) 第 3 回 2025 年 3 月 3 日 (月) 工業会会議室 (WEB 会議併用)
 - ・第 45 回スクーリング実施について
 - ・第 45 回スクーリング設計実技試験問題採点について
 - ・第 45 回スクーリング実施結果について
 - ・第 46 回通信教育レポート問題検討について
 - ・2025 年度厨房レイアウト作成未経験者向け講習会について

【第 45 回厨房設備通信教育の実施】

新入社員の方、「厨房設備士」の資格取得を目指す方、「厨房設備士」は取得済だが業務用厨房に関する知識・技能の向上を再度図りたい方を対象に、2024 年 4 月から翌年 3 月までの 1 年間にわたり厨房設備通信教育を実施した。受講者数は 206 名であった。

また、2025 年 2 月 17 日、18 日の両日に東京、名古屋、大阪、福岡の 4 会場でスクーリングを開講し、185 名が受講した。

3 月 3 日開催の第 3 回通信教育委員会において、厳正なる審査の結果、修了者は 170 名、優秀修了者は 116 名となった。

なお、修了者には修了証、優秀修了者（2 級厨房設備士資格認定試験免除者）には修了証、合格通知、2 級厨房設備士登録関係書類を送付した。

【厨房レイアウト作成未経験者向け講習会の実施】

2024 年 9 月 6 日に東京会場にて厨房レイアウト作成未経験者向け講習会を実施し、通信教育受講者のうち 40 名が受講した。

【教育委員会】

- (1) 第 1 回 2024 年 6 月 21 日（金） 工業会会議室（WEB 会議併用）
 - ・ 2023 年度厨房設備フォローアップ研修会結果について
 - ・ 2024 年度厨房設備フォローアップ研修会の開催について
- (2) 第 2 回 2024 年 9 月 11 日（水） 工業会会議室（WEB 会議併用）
 - ・ 2024 年度厨房設備フォローアップ研修会のテーマ、講演内容等について

【研修会実施内容】

- 〔テーマ〕 「厨房の安全について」
- 〔講師〕 東京消防庁予防部予防課火気電気係長 金野浩幸氏
(一社)日本空調システムクリーニング協会 花木俊介氏
- 〔内容〕 東京消防庁は「離隔距離不足が原因の火災事例」、「離隔距離の考え方」「上引きダクトの火災事例」等について、(一社)日本空調システムクリーニング協会は「排気ダクトの火災事例」「排気ダクト、フード設備等の汚染状況の事例」、「清掃時期の判断方法、清掃頻度の求め方」等について（約 1.5 時間）
- 〔配信方法〕 ビデオセミナー（YouTube を使用）
- 〔視聴可能期間〕 2025 年 3 月 14 日（金）～4 月 14 日（月）
※期間内ならば、好きな時に何度でも視聴可能。
- 〔申込者数〕 法人 29 社・個人 20 名

【教材検討委員会】

2023 年に工学入門第 9 版を発行しており、改訂作業は行わなかった。

◆特別部会関係事項

【設備士試験問題諮問会】

- 第1回 2024年5月31日（金） 工業会会議室
・2024年度厨房設備士資格認定試験問題について

【グリス除去装置評定委員会】

- | | | |
|---------|----------------|-------|
| (1) 第1回 | 2024年4月22日（月） | WEB会議 |
| (2) 第2回 | 2024年7月1日（月） | WEB会議 |
| (3) 第3回 | 2024年9月2日（月） | WEB会議 |
| (4) 第4回 | 2024年10月21日（月） | WEB会議 |
| (5) 第5回 | 2024年11月25日（月） | WEB会議 |
| (6) 第6回 | 2025年2月27日（木） | WEB会議 |

- ・「業務用厨房設備に付属するグリス除去装置の技術基準」に基づき、グリスフィルター、グリスエクストラクター及びグリスセパレーターの性能テストを実施した。結果等を勘案し、グリス除去装置の認定の可否を行った。基準に適合したものについては、ホームページおよび月刊「厨房」誌に掲載のうえ周知に努めた。

[グリス除去装置認定ラベル過去の交付状況と前年度比]

2009年度	: 147,150枚	2017年度	: 218,180枚 (121%)
2010年度	: 171,210枚 (116%)	2018年度	: 187,500枚 (86%)
2011年度	: 163,550枚 (96%)	2019年度	: 182,600枚 (97%)
2012年度	: 186,820枚 (114%)	2020年度	: 131,800枚 (72%)
2013年度	: 207,240枚 (110%)	2021年度	: 137,800枚 (105%)
2014年度	: 220,050枚 (106%)	2022年度	: 134,015枚 (97%)
2015年度	: 213,130枚 (97%)	2023年度	: 151,200枚 (113%)
2016年度	: 180,600枚 (85%)	2024年度	: 150,200枚 (99%)